



2026.

5.16^土

入場無料

14:00～17:00
(開場 13:30)

講師

安和吉則氏 (浦添市教育委員会 主査)
田里一寿氏 (宜野座村立博物館 学芸員)
宮城弘樹氏 (沖縄国際大学 教授)

会場

沖縄県立博物館・美術館
3階 講堂

受付

当日先着 (定員200名)

お問合せ

098 - 941-8200

主催

沖縄県那覇市おもろまち3-1-1
沖縄県立博物館・美術館

琉球・沖縄で伝統的に行われてきた風葬は、一次葬→洗骨→二次葬という特徴的な葬送手順、そして岩陰墓や亀甲墓、破風墓など、ユニークな形状の墓と結びついた葬墓制でした。中でも、近代の風葬墓の直接的な源流になったと考えられる特徴的な墓のひとつに、木製家形墓とその中に納められる板厨子(木製厨子)があげられます。これらは現存例の少ない貴重な文化遺産ですが、近年では木製家形墓の成立と展開に関する新たな知見が、琉球・沖縄各地で蓄積されており、風葬・厨子文化のルーツを考える上で重要な発見が相次いでいます。

そこで、本シンポジウムでは「琉球・沖縄古墓の源流を探る」と題し、15世紀以前の琉球・沖縄で登場した風葬墓の一形態である、木製家形墓にスポットライトをあてて、各地の事例について報告・検討するとともに、今後の琉球・沖縄の古墓研究についても展望します。ぜひご参加ください。

■プログラム 司会：山崎真治 (人類担当学芸員)

14:00	・・・	講師紹介	
14:10	・・・	趣旨説明	山崎真治
14:30～16:00	・・・	講演	報告 1 (安和吉則氏) 30分 報告 2 (田里一寿氏) 30分 報告 3 (宮城弘樹氏) 30分
16:00～17:00	・・・	討論	45分

※途中10分程度の休憩をとります。

あなたの沖縄に出会う

沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum



【開館時間】 9:00 - 18:00 (金・土は20:00まで)

【休館日】 月曜日 (月曜祝日の場合は翌平日休館)